

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 70代	左眉毛部皮下癍 痕 (顔面外傷)	2mg 1回	<p>網膜動脈閉塞症</p> <p>投与日 左眉毛部皮下の外傷後の皮下血腫が硬結となっていた。 塩酸リドカイン・エピネフリンにて皮下局所麻酔の後、18G針にて血腫の吸引を試行。針先にて癍痕様の硬さを認めたために、本剤2mgを硬結内に注射。</p> <p>投与5分後 「左眼がかすんで見にくい」との訴え。瞳孔を確認したが特に問題はなく診療室外にて待機。</p> <p>投与2時間20分後 「左眼が真っ暗で見えない」との訴え。症状から網膜動脈閉塞症を疑い、眼科にて診察治療。</p> <p>投与2時間35分後 視力右1.0, 左0.09(矯正不能), 視野欠損(生理的暗点部を含む中心部)。</p> <p>投与2時間40分後 眼球マッサージ。</p> <p>投与3時間後 ニトログリセリン舌下投与。 アセタゾラミド注射剤300mg, グリセリン・果糖の配合製剤200mL点滴静注。 前房穿刺。内服処方後帰宅。</p> <p>投与1日後 視力左0.1(矯正不能)。</p> <p>投与2日後 麻酔科にて星状神経節ブロック施行, その3分後に開瞼したところ視力の改善。 左視力0.9まで改善。</p>	企業報告
併用薬: 塩酸リドカイン・エピネフリン					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	備考
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 60代	右肩腱板炎 (右肩腱板損傷, 右橈骨遠位端骨折)	20mg 1回	アナフィラキシーショック 投与日 右肩関節内に注射(本剤20mg, 塩酸メピバカイン20mg)。 投与30分後 急に全身に蕁麻疹出現。痒み著明となる。 投与35分後 血圧80mmHg台と低下, 酸素飽和度88%, 嘔気出現した。一時的な意識レベル低下がみられた。酸素投与と点滴をとり, コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム注, エピネフリン皮下注などにてショックに対する治療を行った。 投与58分後 血圧は159/81mmHgと回復。意識も清明。全身管理のため, 入院となる。夜間は症状として蕁麻疹は残るものの消退しつつあった。 投与1日後 特に血圧低下もなく, 状態は回復。蕁麻疹も改善。 投与2日後 スクラッチテスト((1)1/10倍本剤, (2)本剤原液, (3)1%塩酸メピバカイン)を行い, 15分, 30分後, (1)~(3)ともに陰性。退院。	企業報告
併用薬: 塩酸メピバカイン					